

発行 社団法人
所沢市シルバー人材センター

編集 広報部会

〒359-1143
所沢市宮本町1-1-2

電話 04-2928-8695
FAX 04-2924-0630

ホームページアドレス
<http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/>

ところざわ



悠和会初の大会イベント!! 会員親睦旅行 岐阜・郡上八幡へ



1号車



2号車



3号車

『郡上踊りと清流の郡上八幡温泉』
親睦旅行は9月14日・15日
郡上踊りで有名な八幡町は清らかな水に育まれた小さな城下町。至る所に清流が流れ鯉が泳ぐ小路。紅殻格子の古い町並みにしつとりとけあつた遊歩道、心やさしい忘れられない旅でした。(小島記)

写真は、11月末日まで展示中!
詳細は8ページに。

郡上八幡バス旅行に参加して

松井地区 小林多摩樹

今回も会員皆様さんのご希望が多いNHK大河ドラマでお馴染みの「功名が辻」の山内一豊の妻千代の出生地・郡上八幡へ行くことになりました。

千代は初代郡上八幡城主遠藤盛数の長女として生まれましたが、父の死、母の再婚、敗北、そして流浪、波乱の人生がはじまります。やがて千代は尾張の山内一豊の許へ嫁ぎます。一豊は織田、豊臣、徳川と時代の覇者たちに仕え、最後には土佐藩二十四万石にまで昇りつめた武将。その影には妻である千代の内助の功があったといわれています。有名なエピソードに一豊が「馬揃え」を目前に控えて困っていたとき、千代は「へそくり」十両を差し出して駿馬を買わせ、それが信長の目にとまって一豊の出世の糸口となった逸話があります。これは皆さんご存じの通りです。



若い頃を今、振り返りますとそのチャンスはありましたか？いかがでしたか！生かして定年を迎えた方も、無かった方も、今は同じシルバーの仲間です。

郡上おどりは、日本三大民謡のひとつですが、八月十三日から十六日の四日間、夜通し踊りあかすというもので、先月に終わりましたが、新しい博覧館と同年配の観光案内さんのおかげで、古き良き四百年の伝統の街を十分に堪能することが出来ました。尚、観光案



この男性色つばいねえ

内さんは、シルバー会員ではなくボランティアの方でした。今回の親睦旅行は、悠和会が発足して最初の大きなイベントであり、短期間に企画・立案・配布資料の作成、そして実施まで、手作り作業のようでしたが、新しい役員の皆さんのご努力と参加者のご協力で事故もなく楽しく無事に終了出来ました。楽しんでいただきたきありがとうございます。



よあそノ サキちゃん

悠和会 第1回 会員親睦旅行決算書

<収入の部>

摘要	金額	備考
会費	2,379,000	会費 19,500円×122名
センター補助	281,000	
祝金	30,000	秋山理事長、田中・小林副理事長 森田専務理事、藤吉看護師
合計	2,690,000	

<支出の部>

摘要	金額	備考
宿泊旅行費	2,684,000	1人当たり 22,000円×122名 (宿泊費、宴会費、昼食代、車内飲食費 有料道路代、バス借上料、乗務員宿泊費 保険料他)
心付	6,000	添乗員 3,000円×2名
合計	2,690,000	

平成18年度各部署の事業計画

会員安全就業推進委員会

平成18年度委員会活動が新体制で動き始めました。メンバー一丸となつて積極的に活動推進してまいりますので宜しくお願いします。尚、今年度は会員、お客様の協力も頂きながら次の項目に基づき活動します。

〔重点活動項目〕

- ①新規依頼先及び就業現場巡回
新規仕事発注先に出向き、安全就業が可能かどうかの確認をし、又既存会員就業先へ直接委員が訪問し、会員及び発注先の担当者と安全就業について対話形式にて懇談いたします。
- ②事故発生現場検証、事事情説明等の実施
事故発生時の状態、状況を現場に向き分析します。事故当事者である会員の方に委員会開催時に出席を依頼し状況説明を求めます。
- ③安全研修会の実施
【委員研修】委員自らも安全につ

いての研修を行い、就業現場巡回や会員安全研修時に役立てます。《今年度はシルバー保険について》

【会員研修】救命／途上事故／各地区ビデオ研修会等実施し多くの会員の方に安全への意識向上を図ります。《内容等詳細については現在検討中》

④安全週間の実施

毎月1日から7日までの1週間を安全週間と定め、意識向上を図ります。

⑤他市訪問

近隣市町村等、先進的活動を実施しているセンターを訪問し、当委員会活動へフィードバックして活動計画の活性化を図ります。

⑥その他

状況に応じ迅速且つ適切に活動します。

～メンバー紹介～

- ・委員長 山口 博
- ・副委員長 大坂秀吉
- ・委員 押切辰弥／前村潔／泉田 四郎／阿久津貞夫

広報部会

①活動内容

「シルバーだより」を年度内に4回、「シルバーだより号外」を必要に応じ随時発行。

②18年度の方針

*公共機関を通じ、「シルバーだより」を積極的に紹介、広く市民の理解を得るようにする。
*インターネットを利用し、ネット上でPDFファイルにより、幅

広く紹介する。

◎18年度より、広報部会の新メンバーが決まりました。岩崎龍二部会長、中村玲子・阪口俊治両副部会長、田中文雄・小島美代子・志賀幸子各部署委員の6名。
※今まで事務局職員に手助け頂いたパソコンでの作業を、徐々に部会員で原稿まとめ、レイアウトなども積極的に取り組んでいく予定です。

婦人部

活動計画

①日帰り研修旅行

6月29日群馬県の富弘美術館と群馬サファリパークを見学。

②古布回収

年4回、5、8、11、2月の第3火曜日、午前10時より正午まで当番が受け付けています。多数の方（男性会員の方も）のご協力をお願いいたします。特別養護老人ホーム亀令園で使って頂いていますが、大変感謝されています。

③芋煮会

12月1日（金）を予定しております。

④婦人部の集い

2月に予定しています。日頃の仕事の苦勞や楽しみ等の体験発表、その年のテーマに合わせた講師の方のお話など、勉強のあととは懇談となります。
その他、新しい行事にもチャレンジしていきたいと思い、リーダーの皆様と知恵を出し合っているとこ

おじゃましまーす

職場訪問記

(37)



西武園ゆうえんち・プールは、シーズン平日は4〜5千人、土・休日には1万人を超し、毎年約30万の入園者で賑わうそうだ。

取材日は、夏真っ盛りをやゝ過ぎた時期であったが、気温32度、水遊びにはまずまずの日和。シーズン期間中、就業しているシルバー会員を訪ねた。

新鮮な体験

小手指地区 相田晴彦

退職前から、公民館の講座を通じて知り合った地域の仲間とテニスサークルをつくり、畑仲間とは野菜を作っていた。退職後もその流れで月曜日・水曜テニスそして畑にいそしむ日々が続いていた。

65歳か70歳になったら、シルバー人材センターにお願いしようかな、と考えていたが、団塊の世代が押し寄せる前に、行ってみてはどうかと仲間にも勧められるままに6月に登録した。希望の職場にめぐり合えることは簡単じゃないと覚悟していた

西武園ゆうえんち・プール増岡勝副支配人と東口でお会いして、早速波プール前に並ぶ売店にある「旬にしじま」に案内頂いた。この売店では飲食物を販売していて、女性4名の会員が就業。8時〜13時半のローテーション勤務。
開店早々、支度に追われて忙しい中、近藤さん、稲村さんに快く取材

が、7月中旬に、面接を紹介され、会社訪問をさせていただいた。家から比較的近距离で、自転車または歩いていけそうだということが、仕事内容も以前勤務していた業界であることから勤めさせていただくことにした。現役時代後半は管理的な仕事が多かったが、仕事の内容は、ペット用医療関連機器の製作。流れ作業ではなく自分で組み上げて行くのがうれしい。周りの人々の仕事振りは熱心で、入社した頃の気持ちにふつと戻りそうな、新鮮な気分になっている。

ができ、後日、伊藤さんにも話を伺うことができた。仕事について聞くと「オーナーがとても良い人で、一緒に働いている人達も親切で毎日楽しく働いています。ここでの仕事だったらいつでも働きたい」と笑顔で話された。よく売れるのはポップキーン、フライドポテト、カレーライスが人気だそうだ。また、オーナーは「シルバーの存在をもっと早く知っていたらば・・・、今回始めて会員の方にお手伝い頂き、感謝しています」と話された。

売店の次に訪れたのは、約4千300個あるコインロッカーを管理する仕事で会員7名(男5名、女2名)が就業。8時〜18時のローテーション勤務。まだ忙しくない時間だったので快く取材に応じてもらった。男性の近藤・山崎さん、女性の小柏さんの3人が就業中。両替、ロッカーの故障、清掃などが仕事だそうだ。

シーズン中では、お盆前後がファミリーで来る入園者も多く忙しい。また、子供連れが多いので忘れ物も多く、ロッカーキーの紛失などの対応処理で結構忙しいそうだ。近藤さんは「やはり、夏は暑い日が続くのが一番。お客さんに大勢来てもらい、



我々も忙しく動き回っている方が仕事に張りが出ますね。それと、できるだけお客さんとのコミュニケーションを心がけています」と話された。

増岡副支配人にシルバーの仕事ぶりを聞いたところ「シルバーの皆様には、一生懸命やっけて頂いております。長年培った知識や色々な経験をお持ちで、仕事もスムーズに流れ、大変助かっております」とお褒めの言葉を頂いた。

ここで就業している皆さんの暑さにも負けず、生き生きと仕事をしている姿に、シルバーもまだまだ元気だ！と実感しながら取材を終えた。

今回の取材で、増岡勝副支配人には貴重な時間を割いて頂き、快く応対してくださり誠にありがとうございました。(岩崎記)

家事援助講習会

9月28日・29日、彩の風 島田俊子先生の指導のもと介護講習会が開催されました。

☆28日

◎午前Ⅱ(術)スキップの長谷川慶造さんに介護予防運動として最近高齢者やスポーツ選手の間でかなりの成果を上げている「加圧筋トレ」について、ボディ部分の筋肉を鍛えることと、無理のない運動を毎日続けることが重要で、そのための運動を指導していただきました。

◎午後Ⅱ秋晴れのもと、車イスの目線で車の走っている道を通ると、どんな感じかを体験しながら街の一角を2周しました。歩くのと違い、大変な労力が要るようで、皆翌日まで疲れが残ったようです。

☆29日

◎午前Ⅱ新たに見直された介護保険について、ケアマネージャーの大沢講師から詳しい説明がありました。要支援サービスが新たに加わったことで、初期の要介護者が改善されることを強調されていました。その他、施設の在宅サービス等の説明があ



り、今まで漠然としていた介護保険の内容が少しわかってきました。
◎午後Ⅱベッド介助の指導と実習で参加者は熱心に学習しました。
介護の仕事が続けて来られた島田看護師さんのお話からは本場の優しさについて学びましたし、また34名の出席者の半数が男性であったことも時代を感じました。
帰り際、すれ違った男性の参加者から「家族の介護がすぐにもありそうなので参考になりました」というひとことが、耳に残りました。
(中村記)

視察報告

◎7月25日(鶴ヶ島市シルバー人材センター)理事(各部長)・事務局長・次長の7名の方が来所されました。秋山理事長、森田専務・山川事務局次長が下記の内容説明にあたりました。

視察内容

- ①会費の値上げをした根拠
- ②会費の値上げに対して会員への周知方法
- ③事務費の値上げをするにあたって発注者への周知方法
- ④地域班設置に向けての活動内容等の詳細説明

以上、各項目の詳細説明を行い鶴ヶ島市シルバー人材センターより活発な質問等があり、和やかな意見交換ができ、当センターでも大変参考になりました。

その後鶴ヶ島市SC代表理事より当センターの益々の発展と活躍を期待され、視察への感謝の挨拶がなされました。

◎7月27日(吉川市シルバー人材センター)厚生部会担当正副会長外5名の厚生部会担当者及び事務局職員総勢8名の方が来所されました。

視察内容

- ①会員互助会の経緯について
- ②設立総会までの流れについて
- ③設立準備委員会の委員選任について
- ④会員互助会の概要について

吉川市SC厚生部会長より今回の視察でご教示頂いたことを踏まえ、現在互助会設立に向け推進しているとの礼状をいただきました。

大変有意義な視察研修でした



《所沢市長へ要望》

去る9月26日、秋山理事長、田中副理事長、森田専務理事は、斎藤市長に対し今年度上半期の業務状況が去年より8%向上向きであったこと、今後団塊世代の退職期に伴い会員数の増加が見込まれる状況を報告。

この状況を踏まえ、シルバー人材センターとして、中・長期の基本計画を策定するにあたり、市から、受付事務や、福祉などで貢献できうる分野、その他、特定の分野等で幅広く、会員の働く場所の提供を要望、また、市有地（西新井町）にセンターの作業用機材等の倉庫建設に関する要望をしました。市としても出来る限り支援をする旨のお話を頂きました。

その後、加藤助役にお忙しい中、快く面談していただき、同様の要望をしました。助役は一部の地域での高齢化を心配し、介



護や福祉、街づくりの問題点などにも言及され、この分野で会員が貢献出来ることがあるか、話題になりました。（志賀記）

地区だより

去る7月24日（月）柳瀬地区（12名出席）は柳瀬公民館で、9月12日（火）に松井地区は（45名出席）うしぬま荘で地区懇談会が開かれた。

センターから秋山理事長、森田専務理事、山川次長が出席され、就業実績、センターの現状と今後について等のそれぞれ説明をされた。

柳瀬地区懇談会では、会員互助会（仮称）設立の目的と主たる内容、新名称公募の状況報告等の説明。また会員から市報の配布作業分配金増額の要望が出された。



松井地区懇談会



松井地区懇談会では、今回初めて森澤就業開拓員が出席されて、新規開拓への取り組みの現状を判りやすく説明がされた。担当者から直接話が聞けたことが会員にとってはたいへん有意義な会議であった。その後、懇親会に移り、久し振りに会う仲間が楽しく歓談されていた。（岩崎記）

◆お願い—各地区委員へ—◆

この「地区だより」は、各地区で行われる懇談会や活動など、他地区へのお知らせなどを掲載し、各地区の情報交換のコーナーとしてご利用ください。ぜひ投稿をお願いします。

また広報部から取材に伺う事も出来ますのでご一報ください。

薄学駄話

「ゴミ」は金なり

江戸時代、「ゴミ」＝「捨てる物」「無価値の物」ではなかった。再利用できる物はとことん再利用した。この時代、リサイクルは「産業」で武家屋敷から棟割長屋（家賃外収入として）まで糞尿が売り買いされていたのは有名な話：かな？そのリサイクル業者には3種類あった。①修理・修繕業者②不用品の回収業者③再生品・中古品の下取り及び販売業者である

①はキセルの竹の交換（羅宇屋、掛屋、茶碗修復（焼接屋）、下駄の歯入れ、提灯の張り替え等。②は紙屑、古傘、灰、ろうそくを燈した後流れ残ったしずく、髪の毛（抜け落ちた髪や神社に奉納された髪はかもじに再生）等。③の駄残屋（贈答品やそれを乗せるのに使った台等使い廻せる物を下取り・販売）、三つ物売り（古着）、還魂紙売り（漉き返して墨の色が残る灰色の紙）等など。

「かもじ」って日本髪を結う際に添え加える入れ髪のこと。今は〇万円するので髪結代金には貸出料（保険料）が含まれているとか：江戸時代なら抜け毛も再利用できたかなあ

（齋藤記）

「私も言わねえ」

フルタイムパス



フル活動の事務局さん
ありがとう

4月入会 吾妻地区 志賀幸子

7月のある日、事務局の待合室、少
し待ち時間がありました。本を読んで
いましたら、引つ切り無しの電話のべ
ル。会員さんからの問い合わせ、就業の
申し込み、そして都合がつかなくなっ
た仕事の辞退、そのための対応の仕方
の指導、代わりの人探し、発注者側へ
変更連絡、打ち合わせ、就業者と発
注者側双方への面接の打ち合わせ、そ
の間も窓口での対応。等々、めまぐる
しく仕事を進めています。そして来客
その他会議や講習の準備等々。そして
驚かされたのは、会員さん一人一人の
求職情報をとて良く把握している
様子が、スムーズな電話の応対で判り
ました。本当にありがたく思いました。

この忙しい室内がなぜかゆつたりし
たムードなもの不思議に感じました。
私も会員の皆さんや事務局の方々
に負けず、いつまでも現役でいられる
ように、無理をせず、出来ることを、
積極的に取り組んでいきたいと思いま
した。



そして後日、
改めて事務局
の方に伺いま
した。
気持ちのよい

意思の疎通を図るには？

※窓口へ飲酒後のお出かけは、ご法
度ですよ。匂いが気になってキチ
ンとした話が伝えられないかも。

※電話や窓口で、名前と共に会員番
号を伝えましょう。

求職情報などすぐ引き出せて、話
がスムーズになります。

※求職するときには、発注者側の条件
と自分の条件が一致するか、确实
に判断してから面会しましょう。

無駄な面会をしないためです。
※面会は第一印象！

明るい表情、丁寧な言葉遣い。
※請け負った作業内容は、契約条件
に添ってする

約束外の作業はトラブルの基、保
険も適応外ですよ！

悠和会をたより

新しい名称

「悠和会(ゆうわかい)」

指定書体は「HGP創英角ポップ体」
に決まりました。

会員の皆様にはお知らせの通り、
会員互助会(仮称)の正式名称が「悠
和会(ゆうわかい)」に決定しました。
正式名称の命名は、橋本英世様(三
ヶ島地区)、門脇富雄様(中央地区)
2名の方が同一名称で応募され選ば
れました。早速、ご両名から感想を
伺いました。

橋本英世さんは「私がシルバーに
入って12年、この間、とにかく仲良
く働け、気分よく過ごせればいいな
あ・・・」と思い続けてきた事です。こ
の発想を原点到軽い気持ちで『悠和
会』で応募しました。この名称で決
まったとの報を受け、驚きと、良い
のかなあとが入交じった感じを持っ
たのが正直なところです。折りしも、
秋篠宮家にご誕生の悠仁様も同じ
「悠」を使われており、まさにおめ
でたく、いい名称であったと思っ

います。所沢市シルバー人材センタ
ー悠和会が、皆さんの後押しを受け
ながら、大きく羽ばたいて行く事を
祈っています」

また、門脇富雄さんは「応募した
『悠和会』が正式名称に採用して頂
きありがとうございます。光栄に
思います。これからも所沢市シル
バー人材センターの会員の相互、親
睦の和を広げ、ますます発展するこ
とを期待します」と話された。

ご両名には、後日、記念品を贈呈
されることとなります。

◆サークルの案内◆

9月末現在、7サークル(カメラ、カ
ラオケ、ゴルフ、社交ダンス、小旅行、
太極拳、ボウリング)の登録申請があり
ました。

サークルの登録申請は、随時受け付
けております。

会員皆様の教養・趣味を活かせる新し
いサークル結成などがありましたら、ぜ
ひ申請をお待ちしております。

事務局より

《防犯に取り組んでいます》

当シルバーでは、犯罪が急増している事に憂慮し、マグネット式ステッカー『防犯に取り組んでいます』を製作、市内各地を走る業務車に取付け、防犯の目配り気配りをする事になりました。

<9月1日付家庭新聞等にも掲載>

会員一人一人の「犯罪撲滅」という強い意識で、所沢市を安全で安心な街にするため、皆様のご協力をお願いいたします。



《シルバー豆宣伝》

第27回所沢市民フェスティバルに参加します



センターの悠和会が主体となり、10月28日(土)・29日(日)に市民フェスティバル(会場:所沢市航空記念公園内)に参加、福祉団体コーナーの一角に「シルバー人材センター」の横断幕を掲げております。

シルバー人材センターをPRするため作品販売他、障子張替え実演など、さまざまなイベントを計画しておりますので、ご夫婦、お友達、お孫さんなどなどお誘い合わせの上、是非お立ち寄りください。

お知らせ

【健康相談日】

11月16日(木)午後
12月21日(木)午後
1月18日(木)午後

【会員安全就業

推進委員会】

◎現在就業されている会員の方で、

【必携ハンドブック “安全手帳”】【安全ワッペン】をお持ちでない方もしくは、汚れ等により新しい物に交換されたい方は事務局までお越しください。

【悠和会より】

会員旅行の写真を販売します。ご希望の方は11月末日までご覧いただけますのでお越しください。

水曜日に悠和会の事務担当者様が来ております。お問い合わせは水曜日に!!



あとがき

☆今までの会の要として健筆を揮われた島とみ部会長・粕谷昇副部会長の二人が退任され、代わりに、知識と経験豊富な3名を新しく部会員にお迎えすることができ、事務局職員のご協力を得ながら、新企画等を検討しながら誌面の充実を図りたいと思います。(石崎)

☆生きているかぎり、ストレスがないという事はない。だったら立ち向かうしかない。悩みも逃げれば追いかけてくるようだ。こちらから悩みに正面から堂々と立ち向かっていけば負けないし、頑張った分自分が強くなるものだ。ストレスを生かすプラス思考で前向きに生きたい。人のために尽くそうという「心」が健康だと思っているが。(小島)

☆朝のドラマ「きらり」を見ながら、「本当にそうだった」と当時を思い出しています。そう言えば、戦中戦後の庶民の生活を描いたドラマはあまり無かったな・・・とも。(中村)

☆「第一の人生」を自立して過ごすためのキーワードとして「有存在感」を挙げたい。自分が誰かに必要とされている満足感の事だ。周りの人に役立ち、喜ばれれば、分野は問わない。「前向き」が私のモットーである。(田中)

☆広報部会員として紙面編集に携わることになった。皆様のふと洩らす「つぶやき」「ひとこと」を投稿いただき読者欄に、等々、親しめる情報誌にして行きたい。(阪口)

☆名も知らず育てた木に、緑色の実、弾けて淡黄色の花となり、中心は蛇イチゴ様、なんと美男葛の雄株、残念!雌株なら秋に可愛い紅色の実を沢山球状につけるのに。(志賀)